



2014年10月10日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

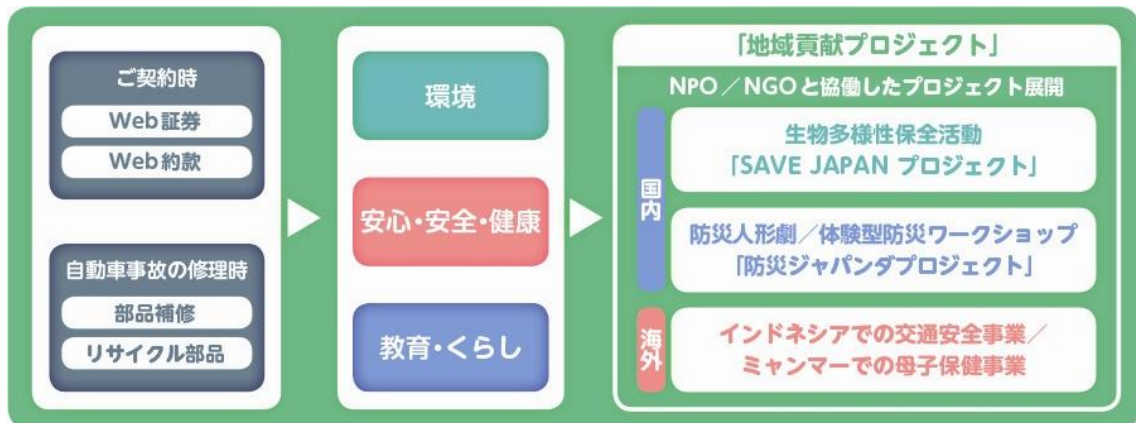
国内外において新たな地域貢献活動をスタート

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、従来より展開している生物多様性保全活動「SAVE JAPAN プロジェクト」に、「安心・安全・健康」「教育・暮らし」に関する活動を加え、新たに「地域貢献プロジェクト」として展開していきます。

活動領域を海外に拡大し、インドネシアでは交通安全事業を、ミャンマーでは母子保健事業を行います。また、国内においても新たに防災人形劇／体験型防災ワークショップを「防災ジャパングプロジェクト」として実施していきます。

1. 「地域貢献プロジェクト」の概要

「地域貢献プロジェクト」は、お客さまが自動車保険のご加入時にWeb約款などを選択いただいた場合や、自動車事故の修理時に部品補修やリサイクル部品を活用いただくことで削減できたコストの一部を原資に、「環境」「安心・安全・健康」「教育・暮らし」に関する国内外の社会的課題にNPOやNGOと協働で取り組む活動です。



「地域貢献プロジェクト」の詳細は以下URLをご覧ください。

<http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/eco/>

2. 新たにスタートする活動の概要

(1) 防災ジャパングプロジェクト

NPO法人プラス・アーツ、ゆめみトランクと協働で、災害から身を守るための知識や安全な行動を身につけてもらうことを目的として、全国各地で防災人形劇／体験型防災ワークショップを実施します。

10月12日、13日に損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール（愛知県名古屋市）で行われる「パペットフェスティバル」で第一回を開催します。



(2) インドネシア交通安全事業

子ども支援専門の国際組織である公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働でセーブ・ザ・チルドレン・インターナショナルインドネシア事務所の協力を得ながら、インドネシア西ジャワ州の州都バンドンで交通安全事業を実施します。モータリゼーションが進むなか、交通安全対策が重要課題となっているインドネシアの現状をふまえ、日本における交通事故の予防・削減のノウハウや経験を活かし、4年間で30の小・中学校の生徒や地域住民を対象に交通安全教育を行うとともに、学校周辺の交通インフラの改善などについて政府に働きかけを行います。

事業のスタートに際して、10月30日にバンドンにおいてキックオフセレモニーを開催します。



©Ingrid Lund/Save the Children

(3) ミャンマー母子保健事業

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働でセーブ・ザ・チルドレン・インターナショナルミャンマー事務所の協力を得ながら、ミャンマーの5歳未満児の死亡率や妊産婦の死亡率が、近隣の東南アジアの国々と比較して高く、その約9割が農村部に集中している現状をふまえ、ミャンマーの農村地域を対象に、母子の健康改善を目的として、妊産婦への保健教育、助産師や補助助産師の育成などを行う事業を展開します。



©Sai Thiha Soe/Save the Children

※インドネシアおよびミャンマーの事業詳細は以下URLをご覧ください。

(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの公式サイト)

http://savechildren.or.jp/sjnk_project/

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後もお客さまやNPO／NGOなどとの協働を通じて、社会的課題の解決に向けた取組みを実施するとともに、レジリエントで持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

以 上